

## 第3回環境活動情報交換会議事録

日 時 平成29年3月22日(水)  
13:30~15:40  
場 所 大井町生涯学習センター 2階 第1・2会議室

### 1. あいさつ

エコ・タウンおおい推進協議会 会長 風間秀泰  
大井町長 間宮恒行

### 2. 自己紹介

※別添「第3回環境情報交換会出席者名簿」を参照

オブザーバー：エコネット足柄 大村

### 3. 環境活動等情報交換

#### (1) 町の取り組みについて

**生活環境課** 配布資料①を参照

質疑応答

Q：今年度は秋のクリーンキャンペーンの日程を四季の里祭りとタイアップしていたが、次年度は日程をずらして行うのか。 (かながわ西湘農協 相和支店 荻野支店長)

A：今年度は町制60周年記念の年であり、環境展の開催年度ではなかったため、参加者により満足してもらえるように地域振興課とタイアップを行った。29年度は環境展の開催年度であるため、環境展開催日にクリーンキャンペーンを実施する。

**防災安全室** 資料無し

- ・防犯灯のLED化を実施
- ・今年度は町内1,393カ所中1,284カ所をLED化
- ・1,393カ所の中には既にLED化してあったものを含む。
- ・交換前のCO2排出量は年間114t。交換後は年間25t。約78%の削減となった。

#### (2) 団体・事業者の取り組みについて

**(株) 第一ビルディング** 資料無し

- ・建物を建てた際に、環境に配慮した設計となっている。
- ・バルコニーに空調システムを置いており、空調の自動整備をしている。
- ・自動制御は室内外の温度、湿度、を感知して一般空調をしたほうが良いか、外気を取り入れたほうが良いか、空調機を動かさずに換気をしたほうが良いのかを自動計算する。
- ・雨水と空調ドレン排水を再利用する計画となっている。
- ・雨水、空調ドレン水を濾過し、トイレの洗浄水や植栽の灌水として使用している。
- ・雨水の補填水としては井戸水を使用。

- ・ 2～7月間の注水量のうち95%を雨水で賄っている。
- ・ 自然光をふんだんに取り入れた建物となっている。
- ・ 廊下に昼光センサーが設置されており、LEDの照度を自動的に制御する。
- ・ 廊下の省エネルギー率は△77%となっている。
- ・ 事務室にも昼光センサーを設置し、省エネルギー率△60%を実施している。
- ・ 水の蓄熱槽による電力の抑制等を実施している。

質疑応答

Q：設備がかなり先進的に感じるが、システムを他社に売るとは考えていないのか。

(エコ・タウンおおい推進協議会 水野)

A：竹中さんが設計した設備。あのビルに合わせてシステムを設定している。他社に売るかどうかはこちらでは判断できない。

**富士ボトリング(株)** 資料無し

- ・ 工場全体に太陽光パネルを設置
- ・ 蒸気による殺菌を行っており、蒸気を発生させるための燃料を重油からガスに切り替えた。
- ・ 毎月防犯パトロールを実施しており、近隣住民も交えて約1時間実施している。

質疑応答

Q：太陽光パネルの発電量はどのくらいか。(エコ・タウンおおい推進協議会 水野)

A：全量買い取りなので10kw以上ではあるが、担当がいなかったため聞けなかった。

**(株)古川** 資料②を参照

- ・ メガソーラーのDVDが完成し、大井町を通して学校に配布している。
- ・ 町制60周年記念として大井町カルタを作成した。

質疑応答

Q：メガソーラー周辺の下草刈り等で協力させてもらうことは可能か。(NPO篠窪 内藤)

A：次年度からは社員と障がい者施設の方々で草刈りを実施する予定。希望があれば会社としては一緒にやっていきたい。

**(株)ブルックスホールディング** 資料③を参照

- ・ 未病癒しの里センター完全オープンは平成30年3月を目指している。
- ・ 遊歩道の各コースは来年の春に向けて整備を進めている。
- ・ 遊歩道は一部であれば現在も利用できる。

質疑応答

Q：主な施設はいつオープンするか。(エコ・タウンおおい推進協議会 水野)

A：現在「フェーズ0」の期間となっており、まず遊歩道の整備を行っている。

また、薬膳カフェとサテライトオフィスが4月オープンの予定であり、オープンに向けて整備を行っている。

県展示施設は平成30年3月のオープンを目指している。

#### **わかもと製菓(株) 資料④を参照**

- ・昨年11月に市街化調整区域から市街化区域に編入し、工業地域に変更した。
- ・緑化作業を強化している。
- ・敷地内に草花を植えるのではなく、敷地内に生えている草木の手入れを行っている。
- ・夏場は暑さにより電力消費量が多くなってしまうため、生産を抑えメンテナンスに充てることで極力電力消費を抑える。
- ・以前は重油ボイラーを使用していたが、現在はガスボイラーを使用している。
- ・不法投棄が多かったが、周辺環境の美化や施設の改装を行った結果、以前よりは減っている。
- ・不良品を出さないことでゴミを減らす。

#### **J Aかながわ西湘 大井支店・相和支店 資料⑤を参照**

- ・産業廃棄物の回収。農業者と産業廃棄物業者の仲介をすることで廃棄物を適正に処理する。
- ・廃ビニール、廃プラスチックの回収を年に2回。廃農薬の回収を年に1回。使用しなくなった農業用機械の回収を年に1回行っている。
- ・回収方法は、事前に回収日と場所を告知し、そこへ持ってきてもらう方式。
- ・廃棄物の適正処理の推進を行っている。
- ・生分解性マルチの普及を進めている。
- ・従来のは産業廃棄物として処理する必要があったが、生分解性のは収穫後に土の中に漉き込めば分解され、ゴミの減量等につながる。
- ・価格が高いのがネックになっているが、普及していけば価格が下がる可能性もある。

#### **ヤオマサ**

- ・レジ袋の削減について務めている。
- ・トレー、ペットボトル、牛乳パック、アルミ缶の回収を行っている。
- ・食品ロスの認識を持ち取り組んでいく。
- ・発注数、賞味期限の進捗具合について意識をし、ロスを無くす努力をする。
- ・食品ロス8割減を目指す。

#### **大井町商工振興会**

- ・年間3回町のイベントに参加している。その際のゴミの分別は徹底する。
- ・今回は各企業の情報を聞き、自分たちでできることを取り入れるために参加した。
- ・地域ロードミラー清掃等を青年部が30年以上続けている。

#### **大井まちづくりコミュニティ研究会 資料⑥を参照**

- ・吾妻山の植栽、下草刈り
- ・町内ウォーキングコースの調査
- ・緑の実践団体交流会及び研修会

## NPO篠窪 資料無し

- ・篠窪地内における菜の花等景観植物の植栽
- ・四季を通じて何かの花が咲いている状態を目指す。
- ・神奈川県水源地環境再生市民事業に参加。荒廃した山林の水源地の保全機能回復に務めた。
- ・次世代の育成に向け、子供会と協力してイベントを開催している。
- ・足柄大井ソーラーウェイにおける下草刈りを受託。

※地域振興課・生涯学習課・大井美化連は欠席だが資料のみ有り。

資料⑦～⑨を参照

### (3) 今後の取り組みについて

環境情報交換会の最終目標は、複数の企業・団体が共同で一つの事業を実施するための足掛かりとなる会にする。

その目標を達成するためにどのような事業ができるかを考える。

#### (例)

報徳学園で、昨年ピザとバウムクーヘン作りを実施した。ピザが焼けるまでの間に山の中で炭焼きの会と一緒に木を切り出すところを見学した。その際に子どもエコ・クラブの紹介でバンダイナムコグループが家族で30名ほど参加し、交流した。

従業員の家族で集まって交流したい。

## 事務局案

### ○植栽

植栽を行い、その後管理をしていく。

### ○フリーマーケット

企業・団体が共同で参加者の募集、当日の運営等を行う。環境展等で実施。

→・産業祭りでも開催しているため、年に何度もやっても売り手がいなくなってしまうのではないか（商工振興会 中村）。

### ○ハイキングコース散策

各企業（特に町外在住の人）に町内のハイキングコースを実際に歩いてもらい、町内の魅力や改善点を発見する。

→・ブルックスのハイキングコースは利用できるか？

来年の春オープンに向けて整備中。全線は開通してないが、一部を使おうとすれば可能。

## 今後の対応

29年度中に一度各企業・団体にどんなことができるかアンケートを取らせてもらい、その中から決定する。アンケートの細かい内容に関しては事務局・協議会で決定する。

(4) 質疑応答、意見交換

- ・まだ各企業間のコミュニケーションが十分でないように感じる。よって、まずは互いの工場  
の見学会等のイベントを開き、相互の理解を深める必要があるのではないか。  
→富士ボトリングは見学コースがあるので、見学会可能。

4. その他

特になし

5. あいさつ

生活環境課長 米山祐司